

1 号議案

令和5年度 茨城支部事業報告

まえがき

原子力国民会議茨城支部は、令和元年6月2日に発足し、「設立記念講演会」、「原子力フォーラム茨城」(4回)、「サイエンスカフェ茨城」(8回)、原子力施設見学会などの原子力の理解促進のための活動を行ってきた。

本年度は、創立5周年記念事業として第5回原子力フォーラム茨城を開催するなど、地域住民の原子力に対する理解促進並びに茨城支部の運営基盤の強化に繋げるための事業を行なった。

1 第5回「原子力フォーラム茨城」の開催

原子力国民会議茨城支部設立5周年記念事業としてGX(グリーントランスフォーメーション)実現に向けて、「エネルギー安全保障と原子力の人材育成」をテーマに第5回「原子力フォーラム茨城」が開催された。第1部は基調講演とパネルディスカッション、第2部はレセプションであり、それぞれ約200名、約70名が参加した。

プログラムは茨城支部ホームページ(<https://ibaraki-kokumin.org>)、開催の概要は原子力の新潮流、vol.4-3(2023.11)に掲載されている。

- ・日時：令和5年7月22日15:00～17:20(第1部)
- ・場所：水戸三の丸ホテル
- ・プログラム
 - 基調講演 GXの展望と原子力の課題等について
講師 衆議院議員・自民党総合エネルギー戦略調査会部会長額賀福志郎氏
 - 講演 今後の政局と安全保障について
講師 産経新聞論説委員兼政治部編集委員阿比留瑠比氏
 - 司会 原子力国民会議事務局長播摩奈津子氏
- ・パネルディスカッション
 - テーマ：エネルギー安全保障と原子力の人材育成
 - パネラー
 - 額賀福志郎 衆議院議員・自民党総合エネルギー戦略調査会部会長
 - 阿比留瑠比 産経新聞論説委員兼政治部編集委員
 - 下路健次郎 茨城県議会議員・原子力政策研究会会長
 - 飯田 英樹 茨城県町村議会議長会会長・大洗議会議長
 - 萩谷 弘通 原子力施設運転保守会社経営者

1 号議案

○大津 乃亜 原子力技術者

司会 檜山敏明元九州大学教授・原子力国民会議理事

・主な成果：

- ① 第1部の参加者は一般市民26%、協賛企業20%、法人等19%、議員13%、その他の順であった。地域別にみると水戸市・東海村・大洗町が各20～25%、ひたちなか市13%、日立市・銚田市・那珂市が各2～3%、その他県内外12%であり、会員と非会員はほぼ同数、女性の参加者は11%だった。このように参加者の職業と地域の分布がこれまでより広がり、今後の会員の拡大や開催地の選定の参考になった。第2部の参加者は地域の議員、日本原子力研究開発機構をはじめ関連企業、原子力国民会議会員が参加し、原子力の将来像などの意見交換と懇親の機会となった。
- ② 当日配布されたパンフレットに地元選出の国会議員と立地地域・隣接地域の市長・町長7名から寄せられたメッセージは、原子力に対する一般市民の声であり、支部活動の参考となった。
- ③ 立地地域の議員、ジャーナリスト、企業経営者・技術者が参加したパネルディスカッションでは、次に述べる検討会に参考となった。

2 人材育成機関（仮称：原子力大学校）設立実現に向けた検討会の設置

茨城支部が主催する「原子力大学校（仮称）設立実現に向けた検討会」は、国の原子力政策に基づく要請に応えるため、大学教授、原子力事業者理事、商工会議所会頭、日本原子力研究開発機構理事の経験者及び県会議員、並びに事務局（一社）原子力国民会議茨城支部会員を構成員とし、検討課題を設定して4回開催された。

主に原子力立地地域の日本原子力研究開発機構、産業界、教育界、行政等の30名から原子力人材育成・確保に関する意見を聴取し、原子力大学校の設立に向けた基本構想を取り纏めるとともに、原子力大学校設立の具体化に向けた今後の検討課題を提案した。

3 基盤整備

（1）茨城支部役員等の交代

茨城支部設立4年が経過し、今年度から以下の新体制となった。

・（一社）原子力国民会議茨城支部特別顧問及び支部役員

特別顧問	田山東湖	前原子力国民会議茨城支部代表、茨城県議会議員
代表	飯島一敬	元大洗わくわく科学館館長、原子力国民会議理事
副代表	檜山敏明	元九州大学教授、原子力国民会議理事
事務局長	深谷恒美	加速器エンジニアリング(株) 監査役

1号議案

事務局長代理 中村保雄 元検査開発株式会社取締役
(参考)

事務局 大毛まゆみ 田山事務所
" 小峯龍司 検査開発株式会社大洗事業所長
" 飛田公一 大洗わくわく科学館

- ・(一般) 原子力国民会議茨城支部常任幹事会議長
常任幹事会 議長 廣井 博 元日本原子力研究開発機構理事

(2) 原子力国民会議本部との連携

- ・季刊誌「原子力の新潮流」の配布
- ・第5回「原子力フォーラム茨城」開催報告等の投稿 (vol. 4-3 2023年11月)

(3) 支部会員加入への取り組み

新たに正会員 (52 口)、法人会員 (2 口) が入会した。

(4) 支部活動の紹介と情報提供のためのホームページ (HP) の活用

「お知らせ」、「活動報告」を掲載した。

以上